

シラバス参照

科目名	医療栄養学概論演習
配当年次	1年次
開講期間	秋学期
単位数	1
担当教員	小暮 更紗(コグレ サラサ) 古屋 牧子(フルヤ マキコ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 木曜日 4時限 16－102

※	
授業の目的・目標	1. 授業の概要： 医療栄養学概論演習は、将来における管理栄養士像を明確にするとともに医療人としての基本的な態度を身につけます。 2. 授業の目的： 様々な領域で活躍する管理栄養士や関連職種の講師から話を聞くことで、目指すべき管理栄養士像を掴むとともに基本的な知識を修得することを目的としています。また、ヒューマンコミュニケーションの授業から医療人としての基本的な態度を身につけるとともに患者さんの気持ちを理解することを目的とします。 3. 修得できる力： 医療栄養学科のディプロマポリシーに記載された 社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している。(◎) に関する資質・能力の修得を目指します。 4. 授業の到達目標 医療栄養学概論演習では、各領域における管理栄養士の活動内容を理解し、将来目指す管理栄養士像をイメージできるようになること、医療人・管理栄養士を目指すうえで基本的な態度や知識、コミュニケーションの修得を到達目標とします。 また、豊かな人間性を持ち、社会環境の変化を捉えて、医療人としてのあるべき姿を常に模索しつつ、自己研鑽を重ねる管理栄養士としての心構えの修得を目的とします(2023年度DP1)。社会のニーズに対応した健康や医療に関する幅広い知識と技能といった管理栄養士としての基本的資質に直結する能力とともに、地域医療、臨床栄養、予防医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、ならびに、その学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり医療栄養学の専門家として自らを成長させようとする心構えを有している(2024年DP3)。
準備学習等の指示	【事前学習】 授業開始前にシラバスを読んで、当日の授業内容について確認してください。(学習時間90分) 【事後学習】 授業後にレポート課題に取り組むとともに、指定された期日を厳守して提出してください。(学習時間120分)
講義スケジュール	1. 医療栄養学における医療栄養学概論演習 医療栄養学における医療栄養学概論演習の意義について説明できる。 2. 医療人としての心構え1 グループ討議(SGD)の効果的な方法を学ぶとともに実践することができる。 3. 医療人としての心構え2 管理栄養士の活動現場の見学や講演を聴くのにふさわしい身なり・行動についてグループ討議し、発表資料としてまとめることができる。 4～6. 医療人としての心構え3 ヒューマンコミュニケーション授業から患者の気持ちを理解することができる。 7. 管理栄養士としての将来像を考える1 管理栄養士が将来活躍できる職場を考え、自分の将来像をイメージすることができる。 8. 管理栄養士としての将来像を考える2 急性期病院における管理栄養士の役割と使命、業務内容を説明できる。 9. 管理栄養士としての将来像を考える3 慢性期病院における管理栄養士の役割と使命、業務内容を説明できる。 10. 管理栄養士としての将来像を考える4 薬局・ドラッグストアにおける管理栄養士の役割と使命、業務内容を説明できる。 11. 管理栄養士としての将来像を考える5 企業における管理栄養士の役割と使命、業務内容を説明できる。 12. 管理栄養士としての将来像を考える6 スポーツ分野における管理栄養士の役割と使命、業務内容を説明できる。 13. まとめ 医療栄養学概論演習で学んだ内容を概説でき、他の関連する科目とのつながりについて説明できる。
教科書	指定の教科書はなし。 必要に応じて適宜指示をします。

参考文献	指定の参考文献はなし。 必要に応じて適宜指示をします。
授業の方法	①ICTを活用して、アクティブラーニング形式で実施 ②各分野で活躍されている管理栄養士や関連職種の講師による特別講演 ③病院や介護施設への実地見学(新型コロナウイルスの状況により特別講演などへ振替える場合あり)
成績評価方法	形成的評価(ルーブリック、初回授業時に提示) ・レポート課題提出状況や内容 100% ・受講態度、参加度も加味
オフィスアワー	木曜日5限
居室	古屋:16-518(小暮)、16-406(古屋)
ホームページ	
その他特記事項	
添付ファイル	